

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

田辺工業が2位と3位

県高校生ロボット競技会

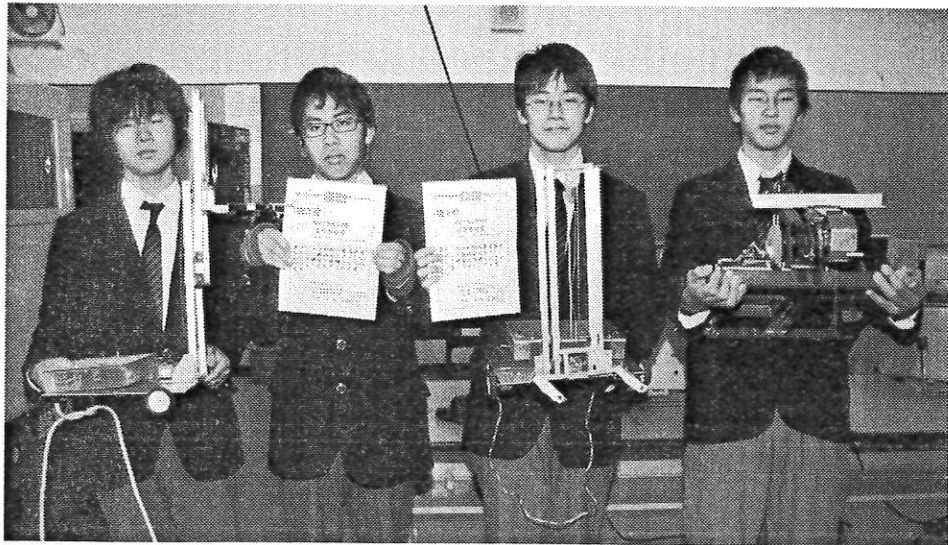
田辺市あけぼの、田辺工業高校工作製図部の2チームがこのほど和歌山市であった県高校生ロボット競技会で、それぞれ2位と3位に入った。

県高校教育研究会工業部会主催。競技内容は、手動ロボットで自動ロボットに発泡スチロールのブロックを積み込み、手動ロボットが自動ロボットにタッチ。その後、マイクパソコンピュターで制御された自動ロボットが壁(高さ85センチ)の向こうにある相手コートにブロックを入れる。5校11チームが競った。

田辺工業高校からは電気電子科1年生の中村信介君(16)と機械科2年生で工作製図部長の榎本悌也君(17)のチー

ムが2位、電気電子科1年生の岡本吉陽君(16)と機械科2年生の谷中仁君(17)のチームが3位に入った。自動ロボットは、2位のチームが鉄を基本にばねを利用してブロックを飛ばす仕組みにしており、高さは出るがブロックがコートからはみ出ないように調整。3位のチームはアルミを基本に作り、一つのモーターでブロックを積んだ手が高さ90センチ伸び、角度を変えてブロックを落とす仕組みにした。試行錯誤を繰り返しながら制作した。

この競技会での3位以上と参加した各校1チームは、12月15日に御坊市である「きのくに高校生ロボットコンテス



県高校生ロボット競技会で2位と3位に入った工作製図部

ト」で再び競う。田辺工業高校は作り替えて臨むといい、榎本部長は「去年は自動ロボットが誤動作して初戦で敗退した。今年の入賞を目指したい」と話している。